

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	老人福祉事務管理事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	高齢者支援課			
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		主管課長	石井 由美子			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	各種高齢者福祉サービス事業に係る市民	意図	高齢者福祉事務を遂行するための経費とする
事業内容	後期高齢者医療、生きがい推進、高齢者給付及び在宅給付に係る事業に要する事務的経費、高齢者福祉に係る臨時的、突発的事務事業に対し迅速に対応できる。			
事業開始から現在までの状況変化	高齢化の進展により高齢者福祉ニーズが高まった。高齢者福祉サービス事業が時代の経過とともに変化するものと思われる。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		65歳以上人口（4月1日現在）	41059	42411	43629	人	
	高齢化率（65歳以上/総人口）	23.70	23.90	24	%		
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						65歳以上人口は、前年度比2.8%増加となっている。
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		130,001	233,925	162,000			
事業費(b)(円)		54,701	165,275	94,880			
うち一般財源		54,701	165,275	94,880			
職員給与費(c)(円)		75,300	68,650	67,120			
人役・職員(人)		0.01	0.01	0.01			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

事務事業の業務改善について

今年度(H29)の改善計画	会議資料等必要な枚数に努める。また、両面印刷や縮小印刷を行い極力印刷枚数を減らす。	取組の課題	高齢者の増加に伴い、各種サービスの案内等の印刷数が増加しているのが現状である。
今年度(H29)に実施した取組	消耗品を効率よく使用し、支出を迎えた。印刷も極力両面印刷等を行った。また、事務室の執務環境について、整理整頓に努めた。	今後の改善計画	引き続き印刷は必要な枚数に留める。また、両面印刷や縮小印刷に努める。消耗品等を効率よく使用し、支出を迎えるようにする。